

目標達成計画

事業所名 フイルームふれあい三野
 作成日: 平成 28年 8月 25日

目標達成計画は、評価結果をもとに事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、次のステップへ向けて取り組んでいく目標を具体的に設定し、記入します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の質向上をめざして優先して取り組む点を話し合います。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の内容が定例化しており、サービス向上に活かされていない。	入居者やスタッフの気持ちや意見をもとに会議を展開、地域との関係性を深め、施設サービスの質を向上し開けた施設となる。	施設が必要行事や意見をもとに1年間のテーマを決め、そのテーマに沿った話し合いや意見交換を行う。可能な限り地域資源も活用していく。	2か月～
2	6	玄関の施錠が当たり前になっており、施錠することが身体拘束となる事の意識が薄くなっている。	職員全体が身体拘束について正しく理解し、玄関の施錠、その他の身体拘束も行わない行わなければならないよう取り組むことができる。	学習会や勉強会の内容を細かく分けて確実に深く理解できるように内容にしていく。拘束が必要か、拘束しなくて良い方法があるかがスタッフ全体で意見や案を出し、拘束についての意識を高める。	6～12か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入してください。